

財團
法人 東京市政調査會製作

・ 大日本教育映畫協會撮影

「復興帝都シムフオニール」
メーソン・タイトルル

大正十二年九月一日の

大震災は

東京市街千百万坪を

焼野ケ原と化し

百億の富を

烏有に歸し

百五十五万の

市民の住居を焼き

あまつさへ六万八千の

尊き命を奪った。

されど、

この呪はしい大災害も

災火のしづまるより早く

灰燼の中から起つた雄叫び

復興 復興 復興

果敢なる市民は

同胞愛に燃ゆる國民は

奮ひ立つた。

涙ぐましいまでの努力が

續けられた。

六年の歲月

今や見よ。

焼土の上に築かれた

理想の都市

甦生の東京

復興の帝都

市民の意氣と努力の結晶

復興帝都のととのへる

活動的なすがた

それは人力と科學が

成し得る

最高の金字塔である。

それは現代都市建設の

典型である。

復興帝都の

あした ゆふべ

朝、夕、

おもへ。

路傍の土くれにまで

宿る

復興のころを。